



編集後記

■……我が国の政界は、安倍政権主導の下、当分は静かに収まって行く、と言う印象が強いのですが、与党仲間の公明党公式ツイッターが、野党・共産党について「汚い、危険、北朝鮮」の頭文字から「3K」と非難する記事を投稿したそう。共産党は「事実無根」と抗議、反論。また北陸のある県の知事さんは、北朝鮮の相次ぐミサイル発射を巡り、「兵糧攻めで北朝鮮国民を餓死させなければならぬ」と毒舌。

■……一方、自民党の女性国会議員(42)は、秘書に対して罵倒を浴びせ、頭や顔を数回殴って怪我を負わせ、本人は離党届を。また中川議員は、知人女性との不倫報道を受け経産省政務次官を辞任、離党。この男、受動喫煙を巡り「(がん患者は)働かなくていい」とヤジを飛ばして悪評を浴びています。『長靴おじさん』

と冷やかされた武藤某は、知人との金銭トラブルを報じられ議員辞職を。自民の2回生国会議員が不倫、失言、長靴、金銭トラブル、殴り合い、と失態続出。さすがの安倍首相、顔をしかめて国会内をうろつき回る。与党のせいもあるのですが、女性の議員志望者が他党と比べて圧倒的に多い。一種の『女性ブーム』が巻き起こっているのでしょうか。

女性の豊田議員は、一見魅力的な『女代議士』、東大卒で厚労省課長補佐を経て、2012年12月の衆院選で初当選というエリート中のエリート。そんな彼女が、男性秘書を3日間かけて顔など計7回殴り飛ばしたというから、やれ恐ろしや、女の暴力。

■……内戦続きのアフリカ・南スーダンで、国連による緊急人道援助の結果、飢饉と見なされる状況は脱することができたそうです。食料不足……。日本人も戦後長い間、味わいましたね。南スーダンでは全人口の半数近い約600万人が、依然深刻な状態にあるようです。国連は「人口の少なくとも20%が極度の食料不足に直面する場合」などを飢饉と判断しています。6〜7月には、食料

不足に直面する住民は、5月より約50万人増え約600万人に上る見通しとか。アフリカを筆頭に、中近東でも住民が飢え死する恐れのある地域はまだまだまだなくなりません。

■……6月21日、米ミシガン州フリントのビショップ国際空港で警察官1人が男に首や背中を刺され負傷しました。FBIは「テロ行為」と見て捜査、今年1月、トランプ政権後、米国内で発生した初のテロ事件の可能性があるそうです。犯人は「アラブ・アクバル(神は偉大なり)」とアラビア語で叫びながら犯行に及んだと言われます。取り調べては、シリアやイラクの状況や「米国への憎悪」を口にしてると言います。

■……私達の周辺で、「日本への憎悪」を口にする外国人は皆無に近いですね。訪れる諸外国人の人も平和安全・安心の町に来て、観光を楽しんでいる。こんな穏やかな国は、ニッポン以外にそう多くない、という知識を持った人が圧倒的。歩きながらすれ違う時、目と目が合う、ニッコリ笑顔を交わす。そんなちよつとした挨拶が大切。せいぜい心掛けませんか、お互いに。

月刊公論 MONTHLY
KORON

8月号 第50巻 8号

平成29年8月1日発行 毎月20日発売
本体価格848円(税別) 送料94円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 和泉貴志
発行所 株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 日本出版販売/大阪屋栗田

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。